

八尾市はつらつプラン 施策推進のための数値目標【令和4年度】

指標項目	R元(2019)年度 プラン改定時	R3(2021)年度 状況	R4(2022)年度 状況	目標達成に向けた取り組み実績	R7(2025)年度 目標値
基本目標Ⅰ：男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成					
男女共同参画が実現していると思う市民の割合(%) ※八尾市民意識調査「あなたは性別に関わらず男女が互いに認め合える差別のない社会が実現していると思いますか。」	33.2	27.5	28.4	・男女共同参画センター「すみれ」において啓発事業を実施した。 ・産前産後休暇・育児休業中の女性向けセミナーを開催するにあたり、八尾市企業人権協会に加入する企業を対象にチラシを配布するなど、幅広く取り組みを周知することで、男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成を図った。	35.0
八尾市男女共同参画センター「すみれ」の認知度(「知っている」と答えた人の割合)(%) ※男女共同参画についての市民意識調査	7.9	—	—	・SNSを活用した情報発信を強化した(すみれ公式LINE、Twitter)。 ・公民連携によるセミナーの開催、庁内連携による取り組みを通じて「すみれ」の認知度向上に向けた取り組みを行った(図書館とのクイズラリー、ひゅーまんフェスタへの出展など)。 ・生理用品の配付をきっかけに男女共同参画センター「すみれ」及び相談窓口の周知を図った。	50.0
基本目標Ⅱ：あらゆる分野における女性の活躍推進					
教育・保育給付の確保方策(2号・3号)	5,706	6,367	6,513	・公民連携により保育枠の拡大を図りつつ、待機・保留児童対策に取り組んだ。	7,024
市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合(%)	33.0 (R2.3.31)	34.5 (R4.3.31)	35.0 (R5.3.31)	・審議会の女性委員の登用について、審議会等の設置等に関する要綱に女性委員の登用率目標を明記し、積極的な委員参画を推奨した。	40.0
女性の参画がない審議会等の数(休会中を除く)	7の審議会等 (R2.3.31)	6の審議会 (R4.3.31)	8の審議会 (R5.3.31)		0
市の男性職員の育児休業取得者数及び部分休業取得者数(人)	23	35	31	※下記は、特定事業主行動計画推進委員会を経て公表予定のため、参考として令和3年度内容を記載しております。 ・令和3年10月18日から28日まで、人権政策課主催の所属長を対象とした「男女共同参画研修」が動画視聴方式にて実施され、研修会の中で、特定事業主行動計画の進捗状況について説明した。 ・育児休業の取得、期間の延長については同一の子について原則1回であり、特別な事情がある場合のみ再取得や期間の延長ができることとなっているが、平成29年10月から保育所等に入所の申込をしているが入所できない場合等についても認められるようになったため、職員課から該当する職員に連絡を取り、希望する職員には制度の説明を行い利用を促した。 ・所属長が、出産を控えている全ての職員と面談の機会を持ち、育児支援ハンドブックを直接手渡し、各種両立支援制度を説明するとともに本人の状況を把握し、育児参加と職業生活を両立できるよう、職場体制を調整する等の支援を継続実施した。	前年度比増
市の職員の出産補助休暇取得者率(%)	85.7	82.9	83.3		100.0
市役所の女性管理監督職[監督職級以上]の割合(%)	36.6	36.3	36.4	・育児休業中のサポートとして、メンター制度を継続している。また、休業中の職員を対象とした交流会を開催し、育休から復職に向けたより具体的な意見交換会の場とするために、育休から復職した先輩職員にも参加してもらった。 ・働き方を見直す取り組みとして、時差勤務制度や在宅勤務の試行実施等を推進した。	42.5
小・中学校の管理職(校長、副校長、教頭)に占める女性の割合(%)	21.8	23.0	24.1	指導主事等を含めた女性の管理職登用並びに女性のミドルリーダーの育成に努めている。	30.0
(参考指標)	小学校・義務教育学校 教頭 46.4% 小学校・義務教育学校 校長・副校長 14.3% 中学校・義務教育学校 教頭 6.3% 中学校・義務教育学校 校長・副校長 6.7%	小学校・義務教育学校 教頭 46.4% 小学校・義務教育学校 校長・副校長 21.4% 中学校・義務教育学校 教頭 6.3% 中学校・義務教育学校 校長・副校長 0%	小学校・義務教育学校 教頭 42.9% 小学校・義務教育学校 校長・副校長 28.6% 中学校・義務教育学校 教頭 6.3% 中学校・義務教育学校 校長・副校長 0%		
基本目標Ⅲ：誰もが安心して暮らせる社会づくり					
乳がん検診の受診率(%)	22.1	13.7 ※算出方法の変更による	15.3	・集団検診でのセット検診の充実、地域での検診の実施等で利便性の高い検診を実施した。 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を実施し、特定の年齢への無料クーポン券や特定の年齢層への受診勧奨はがきを送付した。	50.0
子宮がん検診の受診率(%)	27.2	16.0 ※算出方法の変更による	16.8	・乳幼児健診と同時実施の保育付の子宮がん検診(集団検診)を実施した。 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を実施し、特定の年齢への無料クーポン券や特定の年齢層への受診勧奨はがきを送付した。	50.0
配偶者からの暴力を受けたことがある人の割合(配偶者等からの暴力について「されたことはない」人及び無回答の人を除いた割合)(%) ※男女共同参画についての市民意識調査	女性 29.9 男性 12.8 ※交際相手からの暴力を含む	—	—	・(再掲)生理用品の配付をきっかけに男女共同参画センター「すみれ」及び相談窓口の周知を図るとともに、困りごとを抱える女性を相談につなげる事業を実施した。 ・庁内関係課による八尾市ドメスティック・バイオレンス対応連絡会を開催し、適切な連携の下で組織的に対応することにより、相談体制の充実を図った。さらに、一時保護の必要な被害者について、適切に対応するため、警察署や大阪府等の関係機関との連携により対応した。	女性 15.0 男性 8.0
DV被害に対する相談窓口の認知度(「相談窓口を1つも知らない」人の割合)(%) ※男女共同参画についての市民意識調査	14.2	—	—	・市政だより、ホームページ、情報紙、チラシ、啓発カードの配架等、多様な媒体によりDV防止のための広報・啓発を行った。	5.0